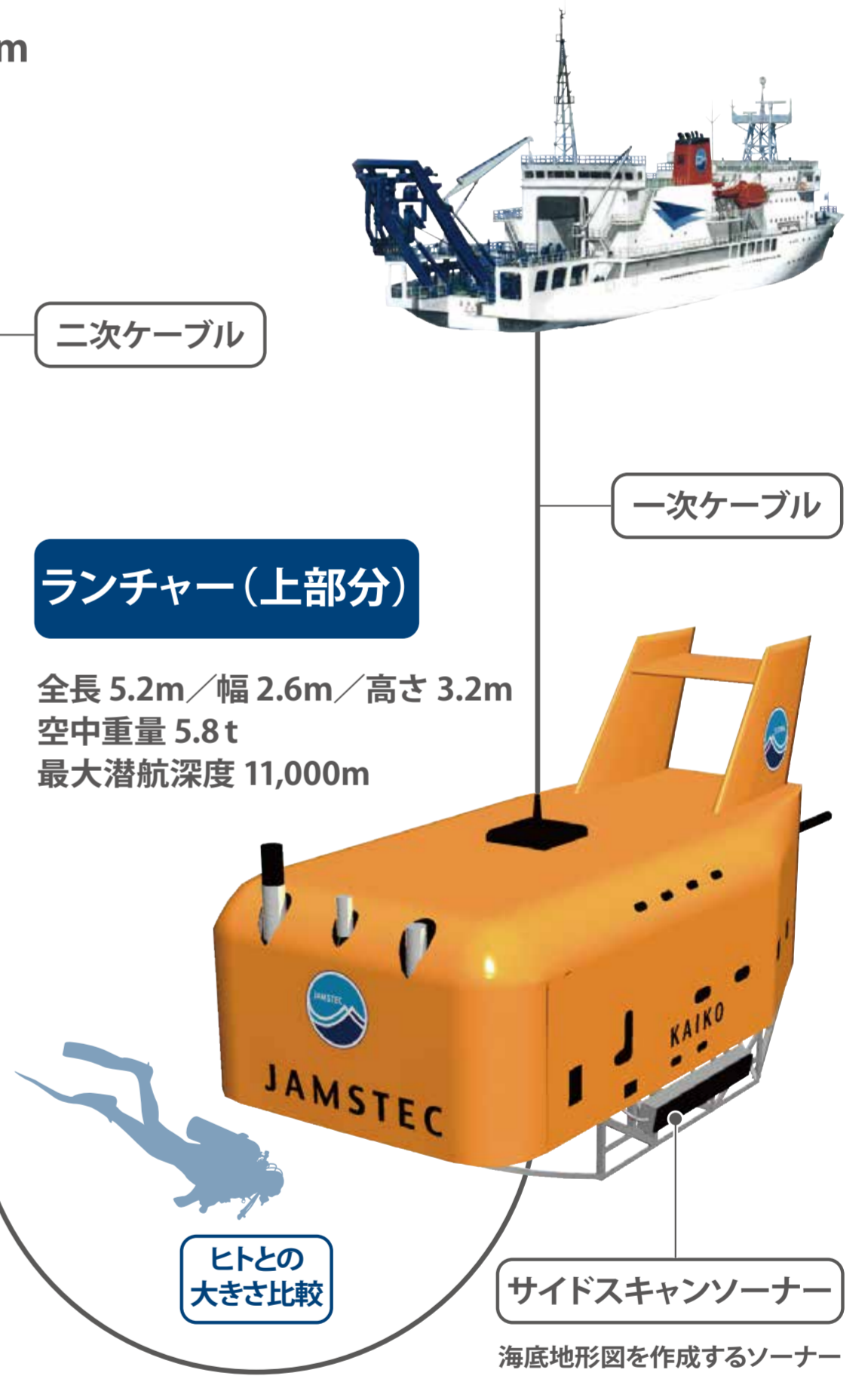
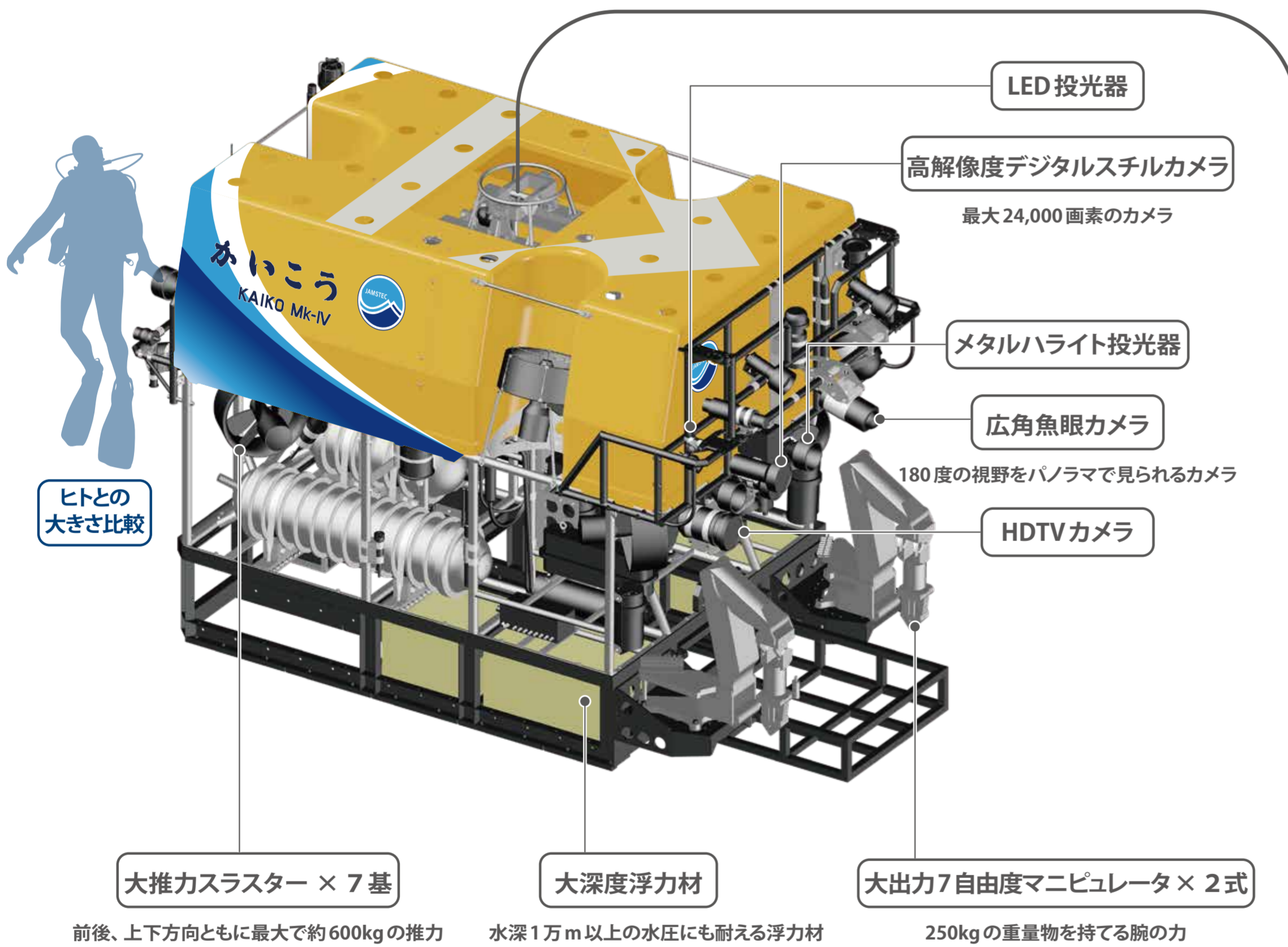


超深海で探査を行う、 無人探査機「かいこう」

「かいこう」は深度 7,000m まで潜ることができる世界トップクラスの無人探査機だ。最大 250kg まで持てる機械の腕が装備されているので、水深 6,000m を超える超深海で、鉱物などの海洋資源を調査することを主な任務としている。現在運用中の「かいこう」は 4 世代目だが、初代「かいこう」は、地球上で一番深い海底(水深 1 万 911m)に、観測機器を乗せた探査機として、世界で初めて到達することに成功した。その後も「かいこう」は、人類が目にする事ができなかった超深海の世界で発見を続けている。

「かいこう」と船は電気をもらったり通信を行うケーブルで繋がっていて、ランチャーとビークルという2つの機器が合体している。ランチャーが深海までビークルを運び、ビークルはランチャーからはなれて深海底で調査する。7,000m のケーブルにつながったままだと、水の抵抗で自由に動き回ることができないため、ランチャーが中継機となっている。

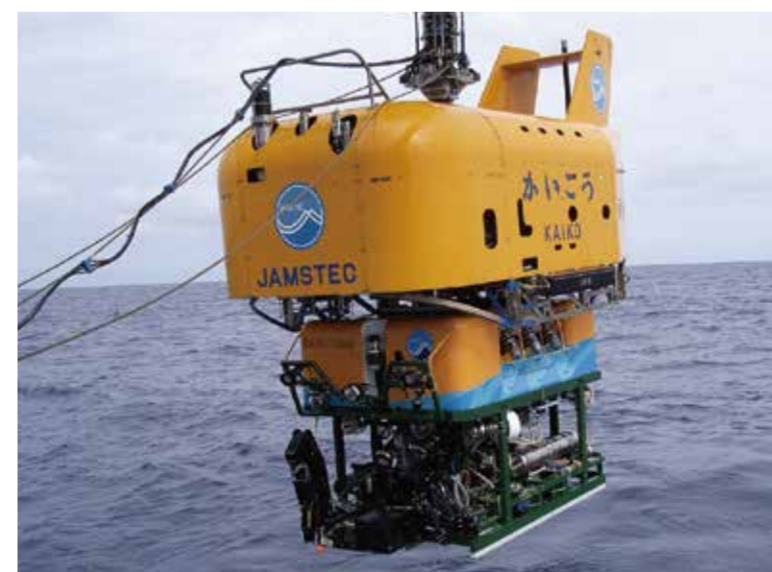
ビークル(下部分) 全長 3.0m / 幅 2.0m / 高さ 2.6m / 空中重量 5.5t / 最大潜航深度 7,000m



初代「かいこう」(1995~2003年)
深度 1 万 m を超えて潜れる性能を活かして深海探査で多くの成果をあげた。



「かいこう 7000」(2004~2006年)
他のビークル部分を改造し利用した。



「かいこう 7000 II」(2006~2013年)
より複雑な作業ができるよう運動性能などを向上させた。



「かいこう Mk-IV」(2015年~)
海洋資源調査などの重作業ができるよう改良した。